

深川は金麩羅の発祥地



食文化史研究家 飯野 亮一

今からおよそ 200 年前の深川に、天麩羅を金麩羅と名付けて売出した店が現れた。『江戸名物詩』(天保 7 年・1836)には「金麩羅仕出 深川櫓下 金麩羅ノ名八海邊ニ響ク。會席料理、品ナ最モ鮮シ」と謳われている。金麩羅という名は、天麩羅に高級感を持たせたネーミングであり、かつ、天麩羅の名にも通じる。この店は、金麩羅を仕出し(売り出して)ヒットし、金麩羅の名が深川辺で広く知れ渡るようになっていく。

当世流行の商店などをランキングした『細撰記』(嘉永 6 年・1853)には、深川の料理店の名が載っているが、その一つに「やぐら下 柳屋」の名がみえる。この料理店あたりが天麩羅に高級感を与えるために金麩羅と名付けて売出し、評判になったものと思える。深川櫓下とは、今の門前仲町の交差点あたりに火の見櫓があり、その下の意である。

その後、金麩羅の名は知名度を増し、天麩羅の別名として通用するようになり、『皇都午睡』三篇上(嘉永 3 年・1850)では、「揚物を天麩羅または金ぶらとも」とある。金麩羅を売り物にする店が増え、前述の『細撰記』には 25 軒の「金プラ屋ごま」の店が載っていて、「御ひとりまへ百文より五十六もん ねだんいろいろてがるにござります」と記されている。当時の江戸っ子は、天麩羅を食べるときは屋台で食べていて、屋台の天麩羅は一串 4 文で食べられた。それに比べると、金麩羅店の金麩羅は高かったが繁昌していた。

金麩羅と天麩羅の違いについては諸説あるが、『女房の気転』(明治 27 年・1894)という料理書には「金ぶら 玉子を上正麩にて解き揚げるなり」とあり、『東京風俗志』(明治 34 年・1901)には「金麩羅は、天麩羅の衣に卵黄を交へたるものなり」とある。また大槻文彦の『大言海』にも「近年、鶏卵の黄身ヲ加ヘて色黄ナルヲ、きんぶらト云フ」と出ている。明治期にはコロモに鶏卵を交えて黄色く揚げたものを金麩羅と呼んでいた。鶏卵、特に卵黄をコロモに加えれば黄色く揚がり、金麩羅の名に相応しいものになる。

江戸時代にも、高価な鶏卵(ゆで卵が 1 個 20 文で売られていた)をコロモに使った天麩羅を金麩羅と呼んでいたものと思える。

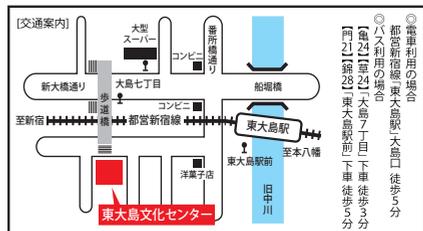
鶏卵の値段がしだいに安くなって、天麩羅のコロモに鶏卵を使うのが当たり前になっていくと、金麩羅の名はあまり使われなくなるが、深川は金麩羅の発祥地だった。



「金プラ屋ごま」の店。店名の下には「御ひとりまへ百文より五十六もん ねだん いろいろ てがるにござります」と記されている。『細撰記』(嘉永 6 年・1853)

公益財団法人
江東区文化コミュニティ財団
東大島文化センター
TEL. 03-3681-6331
FAX. 03-3636-5825

〒136-0072 江東区大島 8-33-9
休館日: 第 1・3 月曜日、ただし国民の祝日にあたる場合を除く
年末年始休館: 12/29 ~ 1/3



東大島文化センター ニュース

- index
- 1 「年忘れ お笑いらいふ」「志の太郎 けい木 二人会」チケット発売中
 - 2 「年末年始の季節の展示」「年末年始のTEKUTEKU水辺ウォーク」
 - 3 ぶらり小名木川/第6研修室から奏でるMyコンサート
 - 4 コラム「江戸時代の食と人々」

年末年始の公演

東大島文化センターで「笑い納め」と

年忘れ お笑いらいふ

2018

日時: 2018 年 12 月 15 日 (土)
14:00 開演 (13:30 開場)
料金: 一般 1,800 円
シニア (60 歳以上) 1,600 円
こども (4 歳~中学生) 1,000 円
※当日各 200 円増
※全席自由
会場: レクホール
★4 歳以上入場可



内海桂子 (漫談)



山岡キタルテッティ (歌謡演劇)



いづのつち (謎かけ)



M2 (エムツー) (コント)



くれはひくみ (バラエティショー)



松田洋子 (両会)

「初笑い」

2019

日時: 2019 年 1 月 26 日 (土)
14:00 開演 (13:30 開場)
料金: 一般 1,500 円
※当日 300 増
※全席自由
※全席椅子席
会場: 第 1 和室
★6 歳以上入場可



志の太郎

けい木

第3回東大島亭
志の太郎 けい木 二人会
【主催】笑いのある暮らし

いずれもチケット好評発売中! ☎ 03-3681-6331

年末年始の季節の展示

12/11(火)
~26(水)

クリスマスのこどもたち byクレイクラフト

クリスマスを楽しみにしているこどもたちの様子を
クレイクラフトで表現した作品の展示です。



- 【協力】
- ・高橋美貴 (DECO クレイクラフトアカデミー上級講師)
 - ・江東区茶華道会
 - ・田淵和夫 (日本の凧の会会員・江戸凧保存会会員)
 - ・フラワーアレンジメント
 - ・絵手紙「茶」

新春華展
1/5(土)~9(水)
※最終日15時まで



1/4(金) ~17(木) **第23回迎春展**

新春にふさわしい生け花、和凧、フラワーアレンジメント、
絵手紙の展示です。ぬりえコーナーもあります。

新春凧展
1/4(金)~17(木)



絵手紙展
1/4(金) ~14(月・祝)



**フラワー
アレンジメント展**
1/4(金)~17(木)



東大島文化センターが
お贈りする

「季節の展示」

会場:1階 展示ロビー
入場無料



小名木川リバーガイド倶楽部
会員 山口 律子

私の好きな江東区そして「小名木川」

江東区に住んで気が付いたら、すでに47年になる。住んで最初の頃は江東区と言えば、誰もが知るゼロメートル地帯でゴミ集積の区と言うイメージしか念頭になくて、あまり愛着が持てなかった。でもその5年ほど前に東西線が開通していたので都心に行くのはとても便利で、買い物や出かけるのはもっぱら日本橋、銀座だった。住み始めた頃近所の人に「銀座に行かない」と言われて喜んで身支度をしたのに行ったのは、何と砂町銀座。この辺では銀座と言えば砂町銀座だった。利用駅は東陽町で、電車は便利だったが駅を上がると都電の停留所が道路の真ん中であって付近は小さな工場があり、冬は吹きさらしで寒く、それでも運賃15円のチンチン電車は好きだった。昭和47年にはそれも廃止になり、東西線は西船橋まで延び、都営新宿線、有楽町線など次々に開通して目まぐるしく変貌をとげていった。

都電の軌道跡は緑道公園になり、今は屈指の桜の名所だ。そしていつしか気が付いたら仙台堀川は大横川より東側は埋め立てられて仙台堀川公園になり、四季折々の木々が植えられて花見や散策の絶好の場所になっている。横十間川親水公園の両岸は散歩コースで川には色々なボートが浮かび、水上アスレチックが出来て子供達の歓声が聞こえる。今更ながら水と緑の江東区の良さが分かってきた。

私が特に好きなのはまっすぐ伸びた長さ4.7kmの小名木川です。その昔生活物資を運び江戸町民の生活を支え、明治以降は三白と言われた(製粉、製糖、セメント)や化学肥料等諸工業が盛んで、物流経済に大きな役割を果たしたこの川も、今両岸は遊歩道になり護岸も低くなって、川では魚が跳ねている。静かな川面を見ながら私は健康を兼ねて毎月2~3回歩いている。江戸時代からこの江東の町の発展を見つめてきた小名木川、そしてこの川に架かる形の違う16の橋は特に見ごたえがあり大好きだ。

来年から新しく年号が変わり、更にまた私たちの街は変わって行くのでしょうか?この魅力的な江東区・この町を、子供達が見て、歩いて、感じて、沢山話して欲しいと思っている。私もリバーガイドの一員として、微力ながらその一役を担いたいと思っている。



南緑道公園都電跡→

年末年始の TEKUTEKU
水辺ウォーク

川に囲まれた江東区の水辺に親しむ「TEKUTEKU
水辺ウォーク」。年末年始のご案内です。



12/9[日]
9:00~11:30

水辺の鳥ウォッチング



身近に見られる鳥たちを観察しながら歩きます。水辺にはたくさんの種類の野鳥がいます。ガイドの解説を聞きながら、彼らの暮らしをのぞいてみませんか。バードウォッチングが初めての方でも大丈夫です。双眼鏡は無料でお貸しします。 **参加者募集中**

対象:中学生以上15名
参加費:600円(保険代含む)
ガイド:荒川洋一(日本野鳥の会会員)
NPO法人ネイチャーリーダー江東

1/24[木]
9:00~11:00

新年 鶯替えでにぎわう亀戸

12/9(日)~募集開始



対象:15歳以上(中学生は除く)15名
参加費:500円(保険代含む)
ガイド:小名木川リバーガイド認定者
※集合:東武亀戸線亀戸水神駅
解散:亀戸天神社前

城東地域の起源、亀戸をガイドとともに巡ります。鶯替え神事など新年の雰囲気を感じながら歴史を学び、スカイツリーの見える亀戸の街歩きを楽しみませんか。

※鶯替え神事に参加希望の方は本ウォーク終了後に各自でお並びください。

チケット販売中

ディズニー、ジブリなど
こどもたちの大好きな曲がいっぱい!

第2回
第6 研修室から奏でる
Myコンサート
0歳からOK!

「まほうのふえ」

全6種類のリコーダーを中心に、フルート、オカリナ、ケーナなど世界各国の笛が登場する楽しいコンサートです。

日時:2019年1月19日(土)
開演:11:00(開場10:30)
料金:一般500円、0歳~中学生は無料
笛・フルート演奏:一村誠也
申込:東大島文化センター 03-3681-6331

